

西ノ島町・海士町・知夫村



由良比女神社



来居横穴墓群

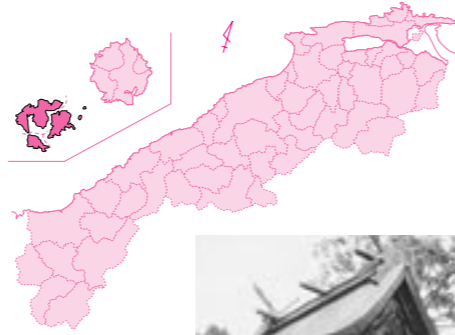


焼火神社

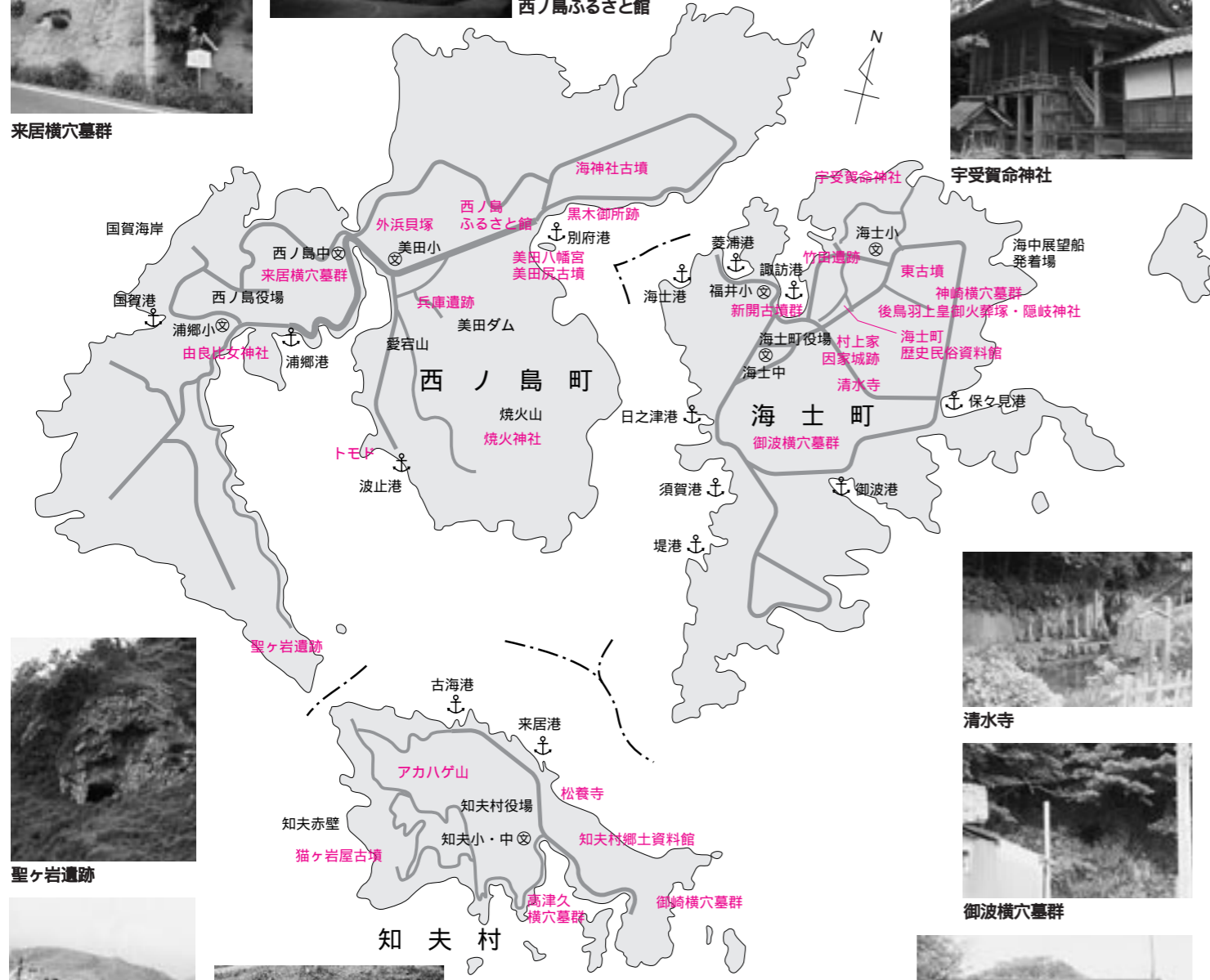


村上家・因屋城跡

西ノ島ふるさと館



宇受賀命神社



聖ヶ岩遺跡



アカハゲ山



猫ヶ岩屋古墳



清水寺



御波横穴墓群



松養寺

岩窟に鎮座する海上鎮護の神 焼火神社

西ノ島町美田
 <指定>国重文(本殿、拝殿)など、県・町指定多数
 標高452mにある焼火山の頂上にほど近い神社。岩の絶壁にある岩窟に差し込むように本殿が、急斜面にはみ出すように拝殿が建てられている。社殿は見事な彫刻や浮き彫りで飾られ、社殿と屋根が複雑に組み合うすばらしい建築は国指定重要文化財。周辺から山頂にかけては自然林が残る(県指定)荘厳さがかもし出す。ふもとと波止の鳥居近くには隠岐特有の漁船トモがあり、国の重要有形民俗文化財。
 <交通>別府港から車15分、下車後徒歩15分
 <連絡先>08514-6-0860
 <いにしえ>6巻P18

イカに乗ってやって来る神さまを祀る 由良比女神社

西ノ島町浦郷
 <指定>町・建造物(本殿、社殿)
 イカが大群でやって来て打ち寄せられる、イカ寄せ浜に面した神社。社殿は明治時代に建て替えられたものだが、装飾性豊かで壮麗な本殿だ。祭神の由良比女はイカに乗って、出ていったり帰ったりするという伝承もある。
 <交通>浦郷港から徒歩5分
 <連絡先>08514-6-0675

岩穴の祭祀遺跡 聖ヶ岩遺跡

西ノ島町珍崎
 西ノ島の南端に突き出した鼻の先端近く、丘陵斜面に露出した大岩に、岩穴が開いている。ここから勾玉が3個出土しており、古墳時代の祭祀の遺跡と考えられる。眼前には海が開け、正面には焼火山や中ノ島が望める。古代の祭祀を考えるうえで貴重な遺跡だ。案内する人がいないとややわかりにくい。
 <交通>浦郷港から車20分、下車後徒歩15分

西ノ島一の横穴墓 来居横穴墓群

西ノ島町美田
 <指定>町・史跡
 美田湾に面した海辺の斜面に造られた横穴墓群。発掘調査で8穴の横穴墓が発見され、そのうちの1穴はコンクリートの壁の間にあり、いまでも入ることができる。かなり規模が大きく、整美な横穴墓だ。
 <交通>浦郷港から車5分
 <いにしえ>3巻P38、7巻P17

後醍醐天皇行在所の跡 黒木御所跡

西ノ島町別府
 <指定>県・史跡
 隠岐に配流された後醍醐天皇の行在所と伝えられる所。約1年間の滞在の後、脱出し、建武中興を起したと言われる。近くには三位局屋敷跡、千福寺跡、隠岐判官館跡などゆかりの遺跡もある。関連資料を展示する「碧風館」が建てられている。碧風館の裏山には、つくりのよい横穴墓群(黒木山横穴墓群)がある。8時から5時30分。11月21日から3月20日休館。一般200円。
 <交通>別府港から徒歩10分
 <連絡先>08514-7-8556

海の民具が特徴 西ノ島ふるさと館

西ノ島町別府
 別府港近くに1996年3月にオープンし、西ノ島の遺跡から出土した遺物や、隠岐独特の牧畑などの農具や漁具、さらに貝や甲殻類などの海に関する民具は、残っているものが少ないだけに貴重だ。町内の文化財や観光地をビデオで見ることできる。一般300円、高大生200円、小中生150円。
 <交通>別府港からすぐ
 <連絡先>08514-7-8877

よく見ると高まりがわかるぞ 海神社古墳

西ノ島町別府
 黒木御所の西側にある、海神社の裏の丘の上にある古墳。丘の上はなだらかで、1.5mほど盛り上がった高まりがすぐわかる。直径15mほどの円墳と考えられ、古墳の上には石が見られる。海神社の境内にも板状の石があることから、石棺などがあつたものと考えられるがはっきりしない。
 <交通>別府港から徒歩15分

美しい流れ造りの本殿 美田八幡宮

西ノ島町美田
 <指定>国・重要無形民俗文化財(田楽)町・建造物(本殿)
 別府港に程近い丘の上にある神社。本殿は装飾性豊かな流れ造りで、町指定文化財。ここで行われる田楽は、日吉神社の庭の舞と合わせて、国指定重要無形民俗文化財。この美田八幡宮の田楽は全部で2時間近くも費やす本格的なものだ。衣装も美しく、全国的に見ても屈指の田楽芸能である。
 <交通>別府港から徒歩5分

港を見おろす古墳 美田尻古墳

西ノ島町美田
 美田八幡宮の裏、別府港を見おろす小高い丘の上にある古墳。全体がこんもり丸い円墳で、直径およそ20mと大型の古墳だ。古墳の斜面には石が見られ、もとは古墳を石で飾っていたのだろう。
 <交通>別府港から徒歩5分
 <いにしえ>3巻P39

魚をお供えする祭りの跡か 兵庫遺跡

西ノ島町美田
 「あたごさん」と呼ばれる形のよい山のふもとにある、古墳時代のお祭りの遺跡。道路工事に伴って2度発掘調査され、大量のお祭りの土器や玉類などとともに、魚の骨や歯が多く出土した。なかでも、コブダイが多いのは注目。
 <交通>浦郷港、別府港から車10分
 <いにしえ>7巻P32

中世の貝殻が今も拾える 外浜貝塚

西ノ島町美田
 外浜海水浴場に接する道路の脇の崖を見ると、砂丘の中に黒い層が含まれる所がある。これが中世の人の捨てた貝殻がたまった貝塚。アワビやサザエ、カキなどがあり、海に面した人びとの暮らしをしのばせる遺跡だ。
 <交通>浦郷港から車10分

忠勤の豪族の屋敷跡 村上家・因屋城跡

海士町海士
 海士の豪族で、代々後鳥羽上皇の御守を勤めてきたのが村上家。瀬戸内の村上水軍の係家と言われ、江戸時代には全国の長者番付に載ったこともある。石垣や門に往時の様子がしのばれる。周囲の山は、屋敷地も含めて「因屋城」と呼ばれる城跡だ。
 <交通>菱浦港から車5分

後鳥羽上皇御火葬塚 ・隠岐神社

海士町中里
 <指定>町・建造物
 隠岐に流された後鳥羽上皇の遺灰がこの地に納められている。火葬塚の奥には行在所となったと言われる源福寺跡がある。南と北の隠岐神社はこの後鳥羽上皇を祭神として1939年に造営された。広大な敷地に大規模な社殿が鎮座しており、町指定文化財。
 <交通>菱浦港から車5分

海士の歴史が見えてくる 海士町歴史民俗資料館

海士町海士
 <指定>県・工芸(来国光大刀)
 海士町に流された後鳥羽上皇関連資料を中心に、郡山遺跡、竹田遺跡、御波横穴墓群などから発見された考古資料・文書類などを展示(来国光作刀は県指定文化財。9時から5時。11月15日から3月15日休館(ただし事前に連絡すれば開館してもらえる)300円。
 <交通>菱浦港から車5分
 <連絡先>08514-2-147(資料館)または2-0111(役場)

おたつき情報
 由良比女神社の神さまは、神無月に行われる出雲での会議から帰るときは、イカに乗って帰って来るといふ。実際、神さまが帰って来るといふ11月29日の神帰祭(いかよせ祭)のころには、イカの大群が神社の前の浜に押し寄せてくるというから不思議。